

日本の未来を見据えて撃つ！
そんなあなたにホットな話題をお送りする
最先端オピニオン紙

日本シティジャーナル

発行：ネットハウス
〒286-0825 千葉県成田市市新泉 14-3
TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334
[平日：10:00～19:00、土曜：12:00～17:00]
<http://www.nihoncity.com>
成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市
千葉市(花見川区、美浜区)、習志野市、八千代市、四街道市
酒々井町、栄町、小林、安良、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町
発行部数：500,000部

大八島国の領域とイスラエルの関係 北海道、東北と南西諸島が国生みから外れた真相

日本最古の正史である古事記は、高天原から天下る神々によって見出される島々の国生みから始まります。日本列島は7千近くもの島々から成り立っていますが、古代の民はその中から国生みを代表する主たる島々を8つ特定し、この国を大八島国と呼びました。古事記の記述によると、その後、更に6つの島々が選別され、大八島国と合わせた14島をもって日本の歴史が始まる礎となる国土とし、国生みは完結したのです。日本書記にも同様に、大八洲国と呼ばれる8島が選別され、歴史が動き始めたことが記載されています。大八島(大八洲)の内容について記紀には若干の相違点が見られるものの、日本列島の中で網羅されている地域は

一緒にあり、結果として、ほぼ同一の島々について語られていると考えてよいでしょう。

国生みについては、ごく一般的に神話と考えられがちです。しかし一旦視点を変えて、記紀の記述が史実に基づくものであるという前提で読み直すと、大陸の東に浮かぶ列島の中から、新しい国家の国土となる島々を古代の民が特定した歴史を編纂し、それを神話化した可能性が見えてくるのではないのでしょうか。記紀には所々、現実離れたような表現が用いられていることから、これまで史実としては受け止めにくいものでした。しかしながら国生みに記載されている島々は実存し、氏族の祖先注記として古事記に明記されている名称でさえも、そ

の殆どの場所を今日でも確認できることは注視する必要があります。氏族の祖先を出身地まで辿り、詳細まで書き記している古事記の内容は単なる空想話とは思えず、むしろ実際に起きた史実を記録した上で、それを編纂していると考えの方が自然です。そこで今一度、国生みに関わる記紀の記述を振り返り、島々や氏族の拠点となった国々の場所を地図上に落とし込みながら大八島国の領域を再確認した上で、歴史の真相に迫ることにします。

記紀が証する大八島国の領域

古事記によると、国生みの主人公として登場する伊弉諾尊と伊弉冉尊は、最初に淡路島、伊予之二名島(四国)、隠岐之三子島(隠

岐諸島)、筑紫島(九州)、伊岐島(奄岐)、津島(対馬)、佐渡島(佐渡島)、そして大倭豊秋津島(本州)の8島を生んだと記載されています。これらは先に見出された8島ということで、大八島国と呼ばれました。それから更に、吉備児島、小豆島、大島、女島、知訶島、阿児島の6島が特定され、二柱の神が生んだ島は合わせて14島になりました。吉備児島は岡山県の児島半島、阿児島は男女群島の男島・女島、また、知訶島については、古くは福江島を「おおちか」、上五島の島を「ごちか」と呼んでいたことから五島列島であるというのが定説です。しかしながら、女島は国東半島沖の姫島とする説があるものの異論は多く、また、大島については山口県の屋代島という説もありますが、定かではありません。

日本書記においても、大八島国と同等の大八洲国が国生みの島々として明記されていますが、島々が見出された順番が古事記の記述と異なるだけでなく、本文と複数の「あるふみ」に記載されている内容にも若干の相違が見られます。しかし以下の理由をもって、違いは些細なものと言えるでしょう。まず、大日本豊秋津洲は国生みの基点である淡路島に隣接し、目先に見えることから、それを淡路島の次に見出したとするか、もしくは日本海まで渡り、島全体の様相を確認した最後の時点で生んだとするかの違いと考えられます。

また、日本書記本文では津島を含まず、億岐洲と佐土洲を双児の島として一つに数えることにより、新たに越洲と大洲、2つの島を追加しています。越洲は越前以北の北陸道を指していますが、何故、本州の一部である越洲が大八洲国の島の一つとして含まれたのでしょうか。大日本豊秋津洲は既に国生みの2番目の島として記載されていることからしても、同じ島の一部を取りざたして、再度、国生みのリストに列記することは、いささか不自然です。本州の一部である越洲が大倭豊秋津島と併記されるということは、後者も同じく本州の一部を指していたことになります。つまり、大日本豊秋津洲とは本州全部を指すものではなく、本州の中でも越洲より南に位置する部分を指していたと考えられます。越洲の北方となる東北地方は本州の一部でありながら、大日本豊秋津洲と越洲、いずれにも含まれて

いなかったのです。

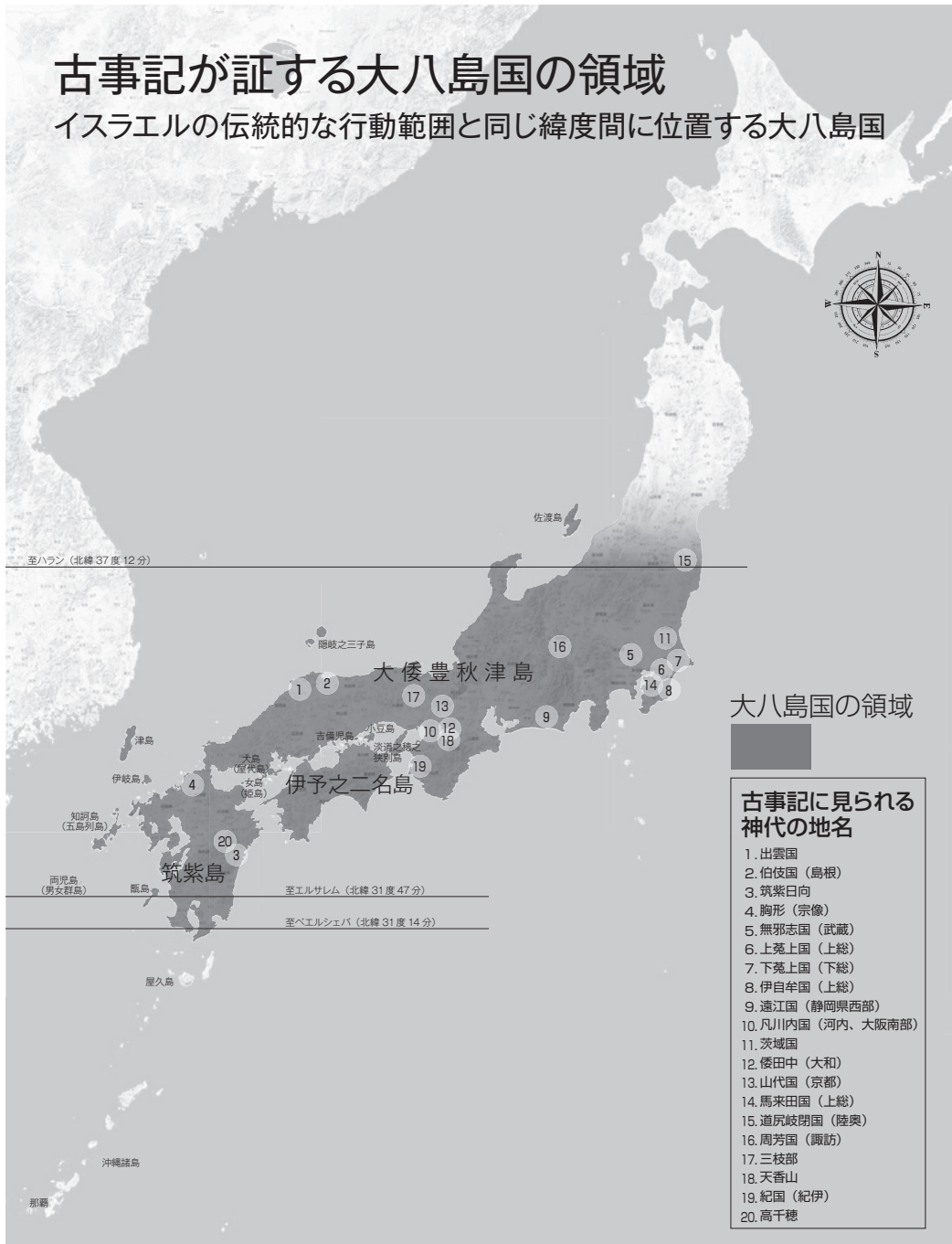
国生みの領域に実際に含まれた地域においては、直後から各地に氏族が住みつき、拠点となる集落が全国に広がりました。古事記にはそれら氏族の祖先となる神々について注記され、そこに記載されている国造の名称は、氏族を朝廷に組み込む際に与えられた称号であることから、神々の直系となる氏族が拠点とした地域を知ることができます。それらは出雲、武蔵、上総、下総、津島、遠江、河内、茨城、山代、陸奥、諏訪、大和等の国々であり、その基となる具体的な国名が古事記に記されています。これらの中でも最北端に位置するのが道後岐閉と記載されている陸奥です。常陸国風土記によると、「苦麻」と呼ばれた福島の大熊周辺は「苦麻」「道後」、そして「道の尻」と同一地域を指すことから、道尻岐閉、もしくは道後岐閉は福島県の太平洋側に存在したことがわかります。この地域と越洲、そして佐渡島が古事記の国生み神話に含まれる領域の最北端となります。

これらの国生みの対象となった大八島国をはじめ、記紀に記載されている殆どの島々を今日でも特定することができることは注目に値します。それらの島々と、国生みの直後から氏族が拠点とした地域をマッピングすると、何故か屋久島以南の南西諸島、及び、北海道という日本列島を代表する南北の大切な島々が含まれていないことに気がつきます。国生みの領域は、今日の福島県と鹿児島県の間に収まり、まるで無数に広がる日本の島々の中から、特定の緯度線の間に国土が選別したようにも見受けられるのです。もしかして、国土を選りすぐる為の緯度の基準が時前に定められ、日本列島の南北双方向に広がる東北地方と北海道、そして南西諸島が意図的に外され、国生みの対象となる島々は北陸道や福島県界隈を北方の上限とし、九州の鹿児島を最南端とする緯度線の間のみに限定されていたとは考えられないのでしょうか。その答えを、古代日本の歴史を作り上げたイスラエルからの渡来者の故郷、カナン(カナン)の地理的要因から見出すことができます。

古代イスラエル人の行動範囲

まず、イスラエルの歴史を簡単に振り返ってみましょう。出エジプトの時代、モーセに導かれてエジプトを脱出し、荒野の長旅を経

次頁に続く



大八島国の領域

古事記に見られる神代の地名

1. 出雲国
2. 伯伎国 (島根)
3. 筑紫日向
4. 胸形 (宗像)
5. 無邪志国 (武蔵)
6. 上苑上国 (上総)
7. 下苑上国 (下総)
8. 伊自牟国 (上総)
9. 遠江国 (静岡県西部)
10. 凡川内国 (河内、大阪南部)
11. 茨城国
12. 倭田中 (大和)
13. 山代国 (京都)
14. 馬来田国 (上総)
15. 道尻岐閉国 (陸奥)
16. 周芳国 (諏訪)
17. 三枝部
18. 天香山
19. 紀国 (紀伊)
20. 高千穂

てカナンへの移住を成し遂げたイスラエルの民は、当初、12 部族が地中海沿いに広がる領土を分けあい、神が約束された地に定住しました。そしてダビデ王の時代では統一王国となり、ソロモン王の治世においては栄華を極めたのです。その後、国家は分裂して南北王国時代へと突入し、最終的に両国とも滅亡してしまいます。前七世紀、イスラエルの民は南北の王国を失った後、多くはアジア大陸各地へと離散し、中には日本列島へ渡来し、古代日本の礎を築き上げながら新しい国家の創設に多大な貢献をした民も存在しました。

これらの歴史的背景から、イスラエル民は地中海に沿うカナンの地を中心として、長い年月の間、生活圏を拡大してきたことがわかります。また、カナンの地とは西側が地中海であり、東方と南方には荒野の砂漠が広がっていることから、イスラエルの民が長い歴史の中で移動することに慣れている行動範囲とは、海沿いを南北に移

動するというルートに限られていたのです。そして国の最南端には、ペエルシェバの町が存在しました。地図を見れば一目瞭然ですが、ペエルシェバ南方の小高い山を越えた地点から砂漠が続くため、地中海沿いの地に人々が居住する集落を形成できる最南端の地点がペエルシェバだったのです。それ故、北緯 31 度 14 分に位置するこの町の存在は、南方の要として極めて重要な位置を占めています。そしてペエルシェバから北へ 70 キロほど向かうと、エルサレム神殿に辿り着くことができます。

イスラエルの北の国境は、カナンの時代から南北王国の時代に至るまで、レバノン山、そしてダマスコ周辺に位置していました。しかし南方のペエルシェバと違い、北の国境を越えてもダマスコから地中海沿いには緑地が更に 400 キロ以上も続くことから、古代の民の行動範囲は意外に広がったと考えられます。また、地中海沿岸を船で南北に移動することも多く、

地中海の最北端に位置する港から東方へ 250 キロほど内陸に向けて移動すると、イスラエルの先祖であるアブラハムが長年滞在したハランの地へ到達します。ハランは地中海の最北端とほぼ同等の緯度に位置することから、古代イスラエルの民はハランの緯度線までの旅には慣れていたことでしょう。

ハランに広がる緑地の最北端は北緯 37 度 12 分です。また、イスラエル国家の南方の境目となるペエルシェバは、北緯 31 度 14 分の緯度線です。ハランとペエルシェバの地は、それぞれの町の緯度が地中海の南北の到達点とほぼ一致することからしても、重要視されたはずで、長年の歴史を経て、イスラエルの民は、その緯度間を民族特有の行動範囲として体得し、その地理的感覚は生活習慣の一部として自然と身に付いたことでしょう。そして、北はハラン、南はペエルシェバを境目として、この 2 つの緯度線の間において民族の

歴史が作り上げられたのです。

国生みの島々を特定する緯度の存在

古代のイスラエルからの渡来者は、国生みにおける島々を特定するにあたり、当然のことながら祖国で人々が居住した地域や、一般的な旅人の行動範囲の限界を示す緯度線を用いた可能性があります。そこで、前述したハランとペエルシェバを南北の境界として、その緯度線を日本列島に当てはめてみました。すると、南のペエルシェバを通る北緯 31 度 14 分の緯度線は鹿児島県の最南端を通り、また、北のハランを通る北緯 37 度 12 分の緯度線は、能登半島から福島県を通りぬけます。この緯度線の間に国生みに登場する島々や古代の国々がびたりと収まるのは、単なる偶然と言えるでしょうか。国土を特定する国生みを始める事前に、北の上限と南の下限となる緯度線を定め、そのルールに沿って島々や、国々の拠点が見出されたからこそ、故郷イスラエルの地における民の行動範囲と同じ

緯度の位置に、日本の国土が特定されたのではないのでしょうか。

北海道や東北、南西諸島が国生みに含まれていなかった理由が、イスラエル固有の地理と歴史的背景に隠されていました。古代イスラエルからの渡来者は、新しい神の国を東の島々に創生すべく、日本列島まで到来しました。そして伊弉諾尊に導かれた初代の宗教リーダーは、南西諸島方面から船で北上し、日本列島に連なる島々の中からイスラエルの民が旅慣れた行動範囲とすることができる、およそ北緯 31 度 14 分線から北緯 37 度 12 分線の間で、国生みを完結することを当初から目論んだと想定されます。その結果、国生みでは日本列島の南北端が省かれることになり、北海道や東北、そして沖縄を含む南西諸島さえも、古代の国生みのリストに名を連ねることはなかったのです。国生みの背景に、古代イスラエルの知恵が秘められていたことを、日本列島とイスラエル国の地理が証しています。（文：中島尚彦）

沖縄と宮古島のレイライン 屋久島を通り抜ける仮想線が本土の聖地と結びつく意味

南西諸島の南方に浮かぶ宮古島や沖縄は、大陸から船で日本列島へ渡来する民が必ず通らなければならなかった海の通過点であり、これらの島々は規模も大きいことから、古代の集落が発展するにふさわしい島々であったと言えます。そして多くの渡来者が訪れ、これらの島を経由して遠く離れた次の離島へと旅立つことから、航海路を特定することは極めて重要な作業でした。島々の指標と国生みの対象となった本土を一直線に結ぶレイラインの存在は、時には旅の指標の助けともなり、重要な役割を果たしたと考えられます。沖縄だけでなく、宮古島にも島の中心となる高台を通りぬける本土の拠点を結ぶレイラインが存在することは、古代社会において南西諸島が重要な位置づけを占めていたことを裏付ける資料の一つとも言えるでしょう。

宮古島と沖縄の重要性

大陸から日本列島へ航海する旅人にとって、八重山諸島を通じた後の宮古列島、そしてその遠い先に浮かぶ沖縄諸島に並ぶ島々は、極めて重要な航海上の拠点でした。アジア大陸の東、中国の南方から南西諸島海溝沿いに繋がる島々の群れは、大陸棚と太平洋深海の接点に位置し、例えば沖縄南東の海溝では、最深部が 7500 メートル以上にも至るのです。海底が突如として底が抜けたように落ちる南西諸島海溝からマリアナ海溝へと繋がる広大な太平

洋だけに、その海溝が始まる分岐点に浮かぶ島々の存在には古代の民も注目下に違いありません。

中でも沖縄諸島は、最も重要視された場所となりました。その理由として、まず、沖縄諸島が東の島々、倭国へ向かう航海路の途中に浮かぶ安息に最適の島であることが、地理上、明らかであったことがあげられます。台湾からの航海の旅は、渡る先の島々を先に見据えながら海を渡りますが、宮古島から沖縄諸島の間だけが例外だったのです。それまで一番長い距離でも台湾の東海岸から与那国島まで、100 キロ少々しかなかったのが、宮古島からの航海距離は、北側に隣接する池間島から沖縄本島西方の久米島までの最短距離を渡航したとしても 215 キロもの距離があるのです。英語では Leap of Faith という言葉がありますが、正に海を渡る確信にも満ちた信仰の飛躍が無ければ、旅立つことを躊躇する程の距離だったのです。船で少なくとも 2 日の旅を強いられる危険な信仰の船旅だっただけに、その先に浮かぶ沖縄に辿り着くということは、神が約束された「東の島々」という別世界への通過点に到達することを意味し、それは正に理想郷へと一歩近づくことを意味していたのではないのでしょうか。

ここで留意するべきことは、古代社会における海人文化においては、国境などの概念が存在せず、民はおよそ自由に海原を行き来していたということです。よっ

て、倭国の存在が強く意識される基点として沖縄諸島の存在は重要であったとしても、それは今日の国境のような位置づけではなく、あくまで大陸と東の島々を結ぶ航海上の拠点としての認識であり、国境のような固定概念にて島々の存在をすみ分けするようなものではなかったのです。

また、古代の民にとって黒潮という太平洋を取り巻く潮の流れの存在も重要です。その流れの北側に浮かぶ島々が最終的には「東の島々」とも呼ばれた倭国と認識されたのです。宮古島や沖縄諸島は、黒潮の流れの手前に浮かぶ島々であり、倭国の最南端となる境界線はその流れの北側に引かれたと考えられることから、これら南西諸島の島々は国生みの島々の中に含まれることはありませんでした。南西諸島が国生みから外された理由は、イスラエルからの渡来者の祖国が位置する緯度線からも説明することができます。（参照：国生みの神々）その前提で考えると、沖縄が国生みの外に位置する高天原であり、そこから神々が天下って国生みの島々へと航海していった説についても理解しやすくなります。

古代沖縄のレイライン

古代の民は、アジア大陸の東方の拠点として著名な中国の陽城と、日本列島の中心となる淡路島の神籬石が、同一の緯度上に存在していたことを理解していたようです。その繋がりとは今日、レイラインとして理解することができ、淡

路島が大切な指標の一つとして考えられていたことを知ることができます。例えば淡路島から夏至の日の出方向、長野県の諏訪湖周辺には阿久遺跡のような縄文前期の大規模な集落が存在し、また、淡路島を中心として、南西諸島三陸の八戸を結び、日本列島を斜めに横切る長いレイラインも存在しました。このようなレイラインの指標が存在したからこそ、古代の民は天体を観測しながら、行く先々の場所を見極め、海上を確実に移動することができたのです。

淡路島と共にレイライン上の位置づけとして重要視されたのが沖縄の那覇です。那覇という地名はヘブライ語で「安息」を意味し、古代の民が航海の途中に沖縄にて休息の時を持ったことがわかります。今日の那覇は沖縄本島の南西、海岸近くにある大きな町ですが、古代において基点となった那覇の地は、もしかすると奥武山公園周辺ではないかと考えられます。今では埋め立て工事が進められ、奥武山総合運動場が造成されていますが、以前は大きな川が流れ、川の中には「ガーナー森（ムイ）」と呼ばれる小島が存在したのです。今日でも公園そばのコンビニの裏側に、「ガーナームイ」の小島の跡が残されています。港の奥まった川の真ん中に浮かぶ島として、地域の指標ともなっていた「ガーナームイ」は、その長い陸続きにも見える尾の存在からも、沖縄の天の橋立として地元では考えられていた時代もあったようです。

那覇には琉球八社の一つに数えられる沖宮（おきのぐう）が、「ガーナームイ」のすぐそば、奥武山運動場内に建立され、今日でも大勢の人が参拝に集います。先

日、幸いにも沖宮の津嘉田宮司にお会いして、色々話を聞くことができました。中でも興味深かったのは、沖宮と天橋立そばにある籠神社が古代より深く繋がっているという話です。無論、その話は精神面において、霊的に紐づけられていると理解できます。その根拠の一つにやはり、どちらも宮のすぐそばに水の中に浮かぶ島があり、そこが聖地となっていた、という古代の共通点があるそうです。籠神社の前には宮津湾が広がり、その中心を天橋立が南北に渡って陸地をつないでいます。沖宮のそばでも遠い昔からガーナームイと呼ばれた小島が広い川の真中に浮かび、そこから陸地にむかって細長い土地が繋がっていたようでもあります。沖縄の那覇と本土との結び付きは、単に淡路島の神籬石と八戸のレイライン上だけに限らず、淡路島の北方にあたる籠神社とも何らかの絆で繋がっていた可能性があります。

沖縄のレイラインの基本線は、沖縄から南西諸島沿いに日本列島を斜めに横切り、淡路島を通りぬけて東北の三陸海岸北、八戸まで至ります。そのレイラインは九州以南では琉球海溝ともよばれる南西諸島海溝の節目ともおよそ並行し、日本列島全体を縦断する基軸となる線です。沖縄のレイラインは、その基点是那覇周辺を中心とするのが一般的ですが、時には伊江島、伊平屋島などの離島の



埋め立て前のガーナームイ

新しい家具で 新生活スタート!

お部屋の雰囲気に
あわせて
自由にアレンジ!
ディスプレイにも
最適な可動式本棚



79440 ¥65,800

●色:ホワイト
●幅182×奥行38×高さ190.7cm
●色:オークアンスラサイト、アッシュ ●重量:194kg
●メラミン化粧板 ●組み立て式 ●デンマーク製
※左右合計5か所が可動式です

引出し部分の
デザインが
特徴的な
チェスト

70262 ¥29,800

●色:ホワイト
●幅91×奥行49×高さ123cm
●重量:65.2kg ●メラミン化粧板
●組み立て式 ●デンマーク製

tvilum
living your way

コーナーを有効活用
会議室や応接室にも
ピッタリ!

48067 ¥12,800

●色:ビーチ
●幅45×奥行29/61×高さ202cm
●重量:51kg ●メラミン化粧板
●組み立て式 ●デンマーク製

たっぷり収納しても
お洒落に見える
デザインラック

79705 ¥15,800

●色:ダークウォールナット
●幅121×奥行30×高さ1101.9cm
●重量:110kg ●メラミン化粧板
●組み立て式 ●デンマーク製

限定特価
在庫限り
早いもの勝ち

パソコンデスク

人気の北欧デザインデスク

ラップトップPC収納付

79084 ¥15,800

●色:ホワイト
●幅135×奥行50×高さ75cm
●パソコン収納部幅寸
●幅42.5×奥行40×高さ6cm
●メラミン化粧板

PCケーブルが通せるアルミ製の机脚

80901 ¥15,800

●色:ホワイト
●幅150×奥行80×高さ73.5cm
●メラミン化粧板

tvilum
living your way

シンプルながら十分な収納力

80134 ¥8,580

●色:ビーチ
●幅120×奥行48×高さ72cm
●合成樹脂化粧板(ベーパーフォーム仕上げ)

シンプルなデザインでしっかりした作り

81201 ¥8,980

●色:クラシックチェリー
●幅120.9×奥行60×高さ73.4cm
●メラミン化粧板



この他、多数商品を取り揃えております。
お得なセール情報も満載!
是非ファニチャーハウスの
WEBサイトをご覧ください。

携帯電話からはコチラ!

www.furniturehouse.co.jp

※ショールームは現在準備中です。
何卒、ご了承下さい。

ファニチャーハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

ご注文・お問合せは、WEBサイト・電話・ファックスから

www.furniturehouse.co.jp

TEL: 0476-24-5111

FAX: 0476-24-5112

営業時間

平日 10:00~19:00

土曜 12:00~17:00

送料・お支払い方法・発送時期などについては、お問い合わせください。
お客様の都合によるキャンセル・返品は承っておりません。

拠点を含むこともあります。レイ
ラインの指標となる地点とは、島
の高台や山の頂き、周辺の岬など、
奇岩の存在など、とにかく目印と
なる場所が重要だったのです。沖
縄本島周辺は、それらの指標にと
ても富んだ地域だったのです。

基準となる沖縄のレイラインと
は別に、前述した通り、沖縄のレ
イラインには、伊江島と伊平屋島
のヤーヘー岩を結び、それらを出
雲大社の裏山であり、禁足地の聖
山として知られる八雲山まで一直
線に結ぶレイラインの存在も認め
られます。このレイラインはスサ
ノオの足取りに繋がる重要なデー
タを提供します。更に、南西諸島の

最北端に位置し、標高1,936メー
トルを誇る宮之浦岳を有する屋久
島の存在にも注目です。九州地方
最高峰を有しながらも、屋久島は
祖国における緯度線の範囲の南側
に外れた位置に存在したことから、
国生みの対象には入れられなかつ
たのです。しかしながら、屋久島
の重要性は見逃されることはあり
ませんでした。国生みに含まれな
かったものの、筑紫島(九州)に隣
接し、しかも巨大な山を有するこ
とから、この屋久島が南西諸島の
沖縄に結び付くシンボルとしてみ
なされるようになった考えられます。

古代、屋久島が重要な指標で
あったことは、沖縄のレイライン

には屋久島を通りぬけるもう一つ
の重要な線が存在することからも
理解できます。沖縄那覇と屋久
島の頂上を結ぶと、その線は西日
本最高峰の石鎚山に繋がるのです。
もし沖縄が高天原の拠点であると
仮定するならば、沖縄と、そのシ
ンボルである屋久島、そして西日
本最高峰の石鎚山がレイラインで
結ばれているということは、神の
国である倭国を創生するにあたり、
極めて重要です。高天原という地
の利、地の力を吸収した沖縄のレ
イラインが屋久島と繋がっている
こと自体が、屋久島を高天原のシ
ンボルとして裏付ける役目を果た
したので。沖縄のレイラインに

は、南西諸島海溝の海底に存在す
るとてもなく巨大な崖壁に沿っ
て、日本列島が連なる姿そのもの
の中心を通りぬける中心的な指標線
だけでなく、屋久島を通して石鎚
山に繋がる高天原のレイラインや、
スサノオの軌跡を追う出雲へのレ
イラインも含まれていたのです。

淡路島と繋がる宮古島のレイライン

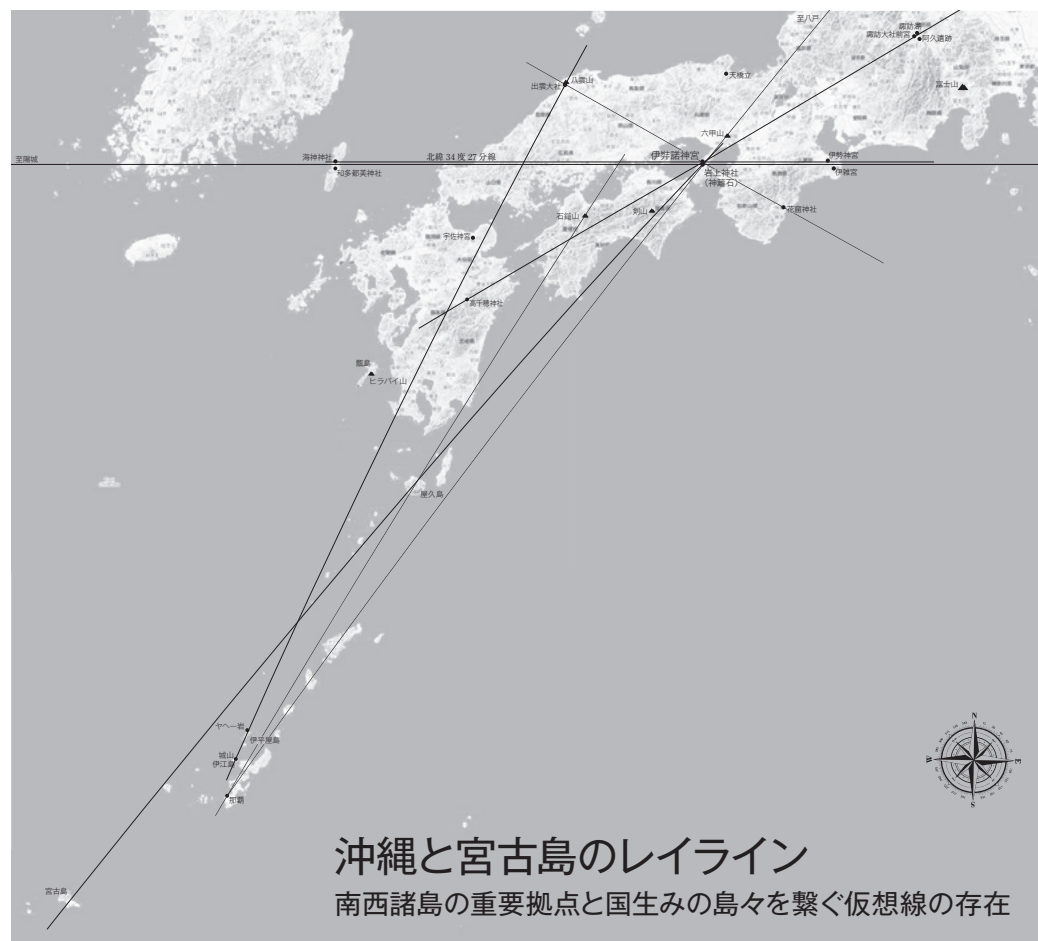
古代の渡航者が台湾から沖縄、
そして本島へと向かう際に立ち
寄ることを常としていた宮古島は、
沖縄島の南西約280キロに位置
し、その間には慶良間海裂と呼ば
れる水深が1キロもある窪地が存
在します。宮古島自体はおおよそ
平坦であり、一番高い所でも115メ
ートルの標高しかありません。平坦
な島ではありましたが、その位置
づけは重要であり、古代では沖縄
に向かう直前に休息をとれる最後
の拠点となる島として重要視され
たことでしょう。宮古島から次の
沖縄諸島までは、南西諸島間でも
最大の距離があるため、海を渡る
渡航者は宮古島でまず、十分な休
息をとる必要がありました。よって、
宮古島は古代から渡航者の休息の
地として認識され、そこで神に祈
り、天候見極め、再出発する力を
蓄えてから沖縄方面へと航海を続
けたのです。こうしていつか宮古
島には強い信仰心が根付くよう
になり、今日ではユタと呼ばれる
霊能者らが庶民に教えを諭す神が
かり的な島としても知られています。

また、宮古島周辺の海域は、
太平洋側から流れ込む黒潮が北
に向けて通り抜けるまっただ中
にあり、その海流にうまくのれ
ば、宮古島からでも意外と早く本
島にまで到達することも不可能で
はありませんでした。その黒潮の

流れが九州本土に注がれる分岐
点に立ちあがるのが鹿児島島の
南に浮かぶ屋久島です。屋久島
は離島でありながら、その頂上と
なる宮之浦岳の標高1936メー
トルもあり、その高さは四国石鎚
山に匹敵する程です。そして頂
上からは九州や種子島だけでなく、
トカラ列島も一望することができ
るのです。それ故、古代の民にと
ても屋久島は天にまで届きそうな
巨大な山からなる不思議な島とし
て目に映ったに違いありません。

その屋久島の頂上と、宮古島の
中心となる野原岳を結ぶと、淡路
島の神籬石にびたりと繋がります。
宮古島のレイラインとも言える
貴重な仮想線は、黒潮の流れに
沿って久米島の西端、西銘崎を通
り、途中、横当島、黒宝島の周辺
に繋がるトカラ列島を航海し、屋
久島の頂上を通りぬけます。そし
てその仮想線は足摺岬を通りぬけ、
最終的に淡路島の神籬石に結び
付くのです。単なる偶然の一致に
見えるような宮古島のレイライン
ではありますが、天体を観測しな
がら方向を重要視して旅した古代
の民にとって、宮古島から屋久島
を目指し、そして淡路島まで到達
する航海路を見極めることは、極
めて重要であったのです。こうして、
沖縄本島からだけでなく、宮古島
からも淡路島という国生みの中心
点を見失うことなく、日本列島を
航海した古代の民は、列島各地の
目的地を見極め、移動することが
できたのです。レイラインは、古
代の民が旅の方向性を確認する
ための優れたツールとしても用い
られたのです。(文・中島尚彦)

連載中の歴史コラムは随時更新して
<http://www.history.jp.com/>
に掲載しています。是非ご覧ください。



沖縄と宮古島のレイライン

南西諸島の重要拠点と国生みの島々を繋ぐ仮想線の存在

室内でも室外でも活躍する音響機器!

PA10/4
クラシックプロ 商品ID:25720

**ミキサー
+
スピーカー
+
マイク(1本)**

講演会やイベント、
ステージ用途に最適!
箱を開けてセッティングすれば、
すぐに音出し可能。マイクは
合計4本まで接続可能です!

23,800円

※掲載価格には消費税(6%)を含みます

他にも色々揃えています!

持ち運びラクラクな
コンパクトセットも
オススメ!

behringer
ベリンガー

ミキサー、スピーカー、ケーブル等を1つに収納可能。
コンパクトで軽量(12kg)、移動も簡単です! *マイク1本付属

EPA150 27,800円
商品ID:152428 送料無料

ワイヤレスマイクセット
クラシックプロ
CWM801S PLUS
29,800円
送信機内蔵・高品質マイクと受信機のセット!

株式会社サウンドハウス
〒286-0825千葉県成田市新泉14-3 (野毛平工業団地内)
TEL:0476-89-1111 / FAX:0476-89-2222
www.soundhouse.co.jp

ショールームでお持ちしています!
R308 サウンドハウス 野毛平店
R511 野毛平店
R295 野毛平店

《営業時間》
平日 10:00~19:00
土曜 12:00~17:00
日曜/祝日 休業

カリフォルニアの美味しい水 アクアヴィル

AQUAVILLE

2ケースセット! 計48本

500mlボトル 24本入



2ケース
送料込 **1,680円**
※一部離島を除く

◀携帯でのご注文はこちら

フィットネスハウス ☎0476-89-3111



募集! フロント受付スタッフ

【業務】フロント受付および、配膳スタッフ
【資格】車通勤可、大駐車場完備
未経験の方大歓迎、一から丁寧に教えます
【時間】10:00 ~ 22:00 内で、1日5~8時間
週4日以上シフト制 (応相談)
【給与】時給 900円
【待遇】社保完備、従業員家族を当館へ無料優待
【応募】電話連絡の上、履歴書をご持参下さい



大和の湯
〒286-0841
千葉県成田市大竹1630

お問合せ **0476-28-8111**
e-mail: info@yamatonoyu.com (担当:採用係)

身近にある天然温泉リゾート

成田の命泉

大和の湯
yamato-no-yu

全国トップ20ランクイン

「大和の湯」効能

腰痛、神経痛、筋肉痛、
関節痛、アトピー、五十
肩、うちみ、運動麻痺、
関節のこわばり、肌あれ、
くじき、痔症、冷え症、
慢性消化器病、後回復
期、切り傷、疲労回復、
健康増進、やけど、
風邪の予防など

大好評! YAYOIスパ&フィットネス

カイロプラクティックの第一人者 田中直文先生

70年代にカイロプラクティックの本場アメリカで修行、
国内屈指の技術を誇る田中直文先生が施術いたします。

カイロプラクティック
約10分 1,500円
《施術日》月・木・土・日・祝日
《施術時間》11:00~21:00

※各セラピストのボディセラピーを45分以上受けて
頂いた後に、田中先生が施術いたします。
※田中先生によるマッソーージやカイロプラクティックの
コースもございます。詳しくはお問い合わせください。
※Yayoi Spa は年中無休です。

入館料 | 平日 : 700円
土日祝: 1000円
※小学生の入館料: 300円 (大人同伴の入館の場合)
営業時間 | 10:00~22:00
※年中無休(全館禁煙)

18 成田駅前バス
18 成田駅前バス
18 成田駅前バス
18 成田駅前バス

www.yamatonoyu.com
TEL **0476-28-8111**
未就学児の入館はご遠慮ください

成田市坂田ヶ池公園そば 大和の湯 3F 和食会席 あじ彩

くつろぎのひとときを演出する
淡路島の魚と旬の味覚

新鮮な魚介を独自ルートで毎日入荷。
産地直送の贅沢な食材を
心ゆくまで堪能ください。

直送!
淡路の
鮮魚

淡路御膳

採れたての魚介を刺身や天婦羅、焼き物でいただく豪華な御膳。
当店一番の人気メニュー **淡路御膳……1,500円**

淡路島の海の幸をたっぷりと盛りつけ、お値打ち価格でご提供。
平日だけの数量限定メニュー **特選海鮮丼……980円**

季節のお薦め淡路料理

舌平目の塩焼き……900円 子持ちイダコの旨煮……600円
※写真は一例です、入荷される食材は日々異なります。あらかじめご了承ください。

営業時間 | 11:00~22:00 (L.O.21:00) TEL.0476-28-8111

WEB サイト案内

日本シティジャーナルをご覧いただきありがとうございます。
本紙のバックナンバーはWEB サイトにてすべてご覧頂けます。
連載中の歴史に関するコラムは最新情報に随時更新して
スペシャルサイト「日本とユダヤのハーモニー」にまとめて
あります。ご意見・ご要望等をお待ちしております、FAX や
ホームページからお寄せ下さい。

日本シティジャーナル: <http://www.nihoncity.com/>
日本とユダヤのハーモニー: <http://www.historyjp.com/>



2月8日、27cmの積雪を観測し20年ぶりの
大雪となった東京では、その翌日、知事選の
投票が行われました。道路の至る所でどろりと
雪が積もったままで、朝から足場が大変悪い
状況でしたが、選挙にて一票を投じることは
国民の義務であることから、別居している
大学生の娘にもメールを送って誘い出し、寒い
雪道を歩きながら一緒に投票に行ってきました。
今回の投票率は史上3番目に低い46%。政治に
関心を持たない一般市民が大半を占める国家の
将来はどうなることかと、心配するこの頃です。

NCJ 編集長 中島 尚彦
1957年東京生まれ。14歳で
米国に単身テニス留学。ワートン
ビジネススクール卒業後、ロス
アンゼルスにて不動産デベロッ
パーとして起業、ビジネス最前線
で活躍する。1990年に帰国後、
成田にサウンドハウスを立ち上げる。
現在ハウスホールディングス代表、
日本シティジャーナル編集長を
兼務。趣味はアイスホッケーと
読書。ここ数年は「日本とユダヤの
ハーモニー」の執筆に励む。